

<pre> * '''''''''', ''' ''' 3 ''' ''' ''' (!) ''' * ''' * ''' + ''' ''' ''' + ''' * ''' * {{{{}}} ''' `'''` (''' `{{{` ''' {{{{}}}) * ~~~~~~ * ^~~~~^ * ,,,,,, * *''''''*, //''''''//, '''''' + '''''' // (0.12 ''''')// </pre>	<ul style="list-style-type: none"> • 太字, シングルクォテーションを 3 つ (''') も頭にエクスクラメーションマーク (!) を付ければ, 太字になります。 • 斜体 • 太字 + 斜体 そして 斜体と 斜体 + 太字 • 下線 • '' または '' (ゆえに {{{ または ` で囲む) • 取り消し線 • 上付き文字 • 下付き文字 • これも太字, これは斜体, そして 太字 + 斜体 (0.12 以降)
---	---

Note:

- {{{{...}}}}と `...`
コマンドは表示を等角フォントにするだけでなく、内容を整形済みテキストとして扱います。つまりテキストに対して、どのような Wiki 処理も行いません
- ! は wiki パーサーに wiki フォーマットとして解釈しないように伝えます。なので、! の後ろにスペースを置くことに注意して下さい。例えば、太字で行が終わるときです
- すべてのフォント書式の記号は開始記号と終了記号のペアで使われなければなりません
そして、これらのペアは適切にネストされなければなりません (特に、斜体の ''' は // とペアにすることはできませんし、太字の ''' は ** とペアにすることはできません)

見出し

見出しは、その行を 1 つから 6 つまでの等号記号 ("=") ではじめ、その後スペースを 1 つおいて、見出しのテキストを記述することにより作成することができます。

見出しのテキストの後ろには同じ数の等号 ("=") が必要ですが、もはやこれは必須ではありません。

ついに、ヘッダは 1 つの明示的な id によって選択的に追えるかもしれません。そうでなければ、暗黙ではあるけれども読み取り可能な id が生成されます。

Wiki マークアップ	表示
<pre> = ''''1 = == ''''2 === '''''' '''''' === === '''''' Id === #using-explicit-id-in-heading == ''''2 #sub2 </pre>	<p>見出し1</p> <p>見出し2</p> <p>これ について</p> <p>明示的な Id</p> <p>見出し2</p>

改行

2 つのテキストブロックの間に 1 行以上の空行がある場合、新しい段落として改行を行います。

強制的に改行だけを行いたい場合、このように書いてください:

整形済みテキストを含むブロックは、ソースコードの一部や、ノート、例示に適しています。引用ブロックとしたいテキストの前後を、3つのブレース (curly braces) で括ってください。ブレースは独立した行に置かなければいけません。

Wiki マークアップ	表示
<pre> {{{ def HelloWorld(): print '''Hello World''' }}}</pre>	<pre> def HelloWorld(): print '''Hello World'''</pre>

Note: このブロックは、[Wiki プロセッサ](#) で処理されるべき行を示すためにも使用されます。

引用ブロック

段落を引用ブロックとしてマークするには、段落を2個のスペースでインデントします。

Wiki マークアップ	表示
<pre> ■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■</pre>	<p>段落</p> <p>このテキストは何かの引用です。</p>

引用

進行中の議題のスレッド、チケットのコメントエリアなどで引用を表すために、メールライクな引用マーク (">", ">>" など) が使用できます。

Wiki マークアップ	表示
<pre> >> Someone's original text > Someone else's reply text > - which can be any kind of Wiki markup My reply text</pre>	<pre> Someone's original text Someone else's reply text • which can be any kind of Wiki markup My reply text</pre>

表

Simple Tables

簡単なテーブルはこのように記述します:

Wiki マークアップ	表示						
<pre> Cell 1 Cell 2 Cell 3 Cell 4 Cell 5 Cell 6 </pre>	<table border="1"> <tr> <td>Cell 1</td> <td>Cell 2</td> <td>Cell 3</td> </tr> <tr> <td>Cell 4</td> <td>Cell 5</td> <td>Cell 6</td> </tr> </table>	Cell 1	Cell 2	Cell 3	Cell 4	Cell 5	Cell 6
Cell 1	Cell 2	Cell 3					
Cell 4	Cell 5	Cell 6					

ヘッダとするセルは、等号 ('=') のペアで中身をラップすることで指定できます。下記の例のように、等号 ('=') はセルのセパレータとくっつけておかなければなりません:

Wiki マークアップ	表示									
<pre> = ■■■ = = ■■■ = = 0.10 = 0.10.5 0.10.6dev = 0.11 = 0.11.6 0.11.7dev </pre>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>安定版</td> <td>最新版</td> </tr> <tr> <td>0.10</td> <td>0.10.5</td> <td>0.10.6dev</td> </tr> <tr> <td>0.11</td> <td>0.11.6</td> <td>0.11.7dev</td> </tr> </table>		安定版	最新版	0.10	0.10.5	0.10.6dev	0.11	0.11.6	0.11.7dev
	安定版	最新版								
0.10	0.10.5	0.10.6dev								
0.11	0.11.6	0.11.7dev								

最後に、空のセルを指定することは、隣の空ではないセルの範囲が空のセルまで広がることを意味します。例:

Wiki マークアップ	表示												
<pre> 1 2 3 1-2 3 1 2-3 1-2-3 </pre>	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1-2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="2">2-3</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1-2-3</td> </tr> </table>	1	2	3	1-2		3	1	2-3		1-2-3		
1	2	3											
1-2		3											
1	2-3												
1-2-3													

もし、セルの中身がセルの左右どちらか一方の端に "くっついている" ならば、そのテキストはくっついている端に寄せて表示されるでしょう。例:

Wiki マークアップ	表示																
<pre> =■■■■ = = ■■ = ■■■ 1.0 ■■■■ 4.5 ■■■■ 4.5 ■■■■■■ 2.5 ■■■■■ 2.5 ■■■■ 2.5 ■■■■ 2.5 </pre>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>テキスト</th> <th>数字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>左寄せ</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>中央寄せ</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>右寄せ</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>デフォルトの配置</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>デフォルト</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>デフォルト</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>デフォルト</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table>	テキスト	数字	左寄せ	1.0	中央寄せ	4.5	右寄せ	4.5	デフォルトの配置	2.5	デフォルト	2.5	デフォルト	2.5	デフォルト	2.5
テキスト	数字																
左寄せ	1.0																
中央寄せ	4.5																
右寄せ	4.5																
デフォルトの配置	2.5																
デフォルト	2.5																
デフォルト	2.5																
デフォルト	2.5																

上記の例に反して、テーブルのセルにより多くのテキストが含まれている場合、複数の行にわたるマークアップを使用して行を広げられれば便利かもしれませんが、(\) がセルのセパレータの後ろの行末にあるとき、Trac は次の行に新しい行の新しいセルがあったとしても、新しい行を開始しません。

Wiki マークアップ	表示			
<pre> ■ 1 [http://trac.edgewall.org/newticket ■■■■■■] \ ■ 2 [http://trac.edgewall.org/roadmap ■■■■■■] \ ■ 3 ■■■■ </pre>	<table border="1"> <tr> <td>行 1 新しいチケット</td> <td>行 2 ロードマップ</td> <td>行 3 最後の行</td> </tr> </table>	行 1 新しいチケット	行 2 ロードマップ	行 3 最後の行
行 1 新しいチケット	行 2 ロードマップ	行 3 最後の行		

複雑なテーブル

上記に記載されている表における簡単な "パイプ" 形式のマークアップによる試みがあなたのニーズに合わないとしたら、[テーブル用 Wiki プロセッサ](#) を使用して、より凝ったテーブルを作成することができます。

リンク

[WikiPageNames](#) や URL は自動的にハイパーリンクされます。 WikiPageLinks を無効化したい場合、 !WikiPageLink のように、エクスクラメーションマーク (!) を語頭に置きます。

Wiki マークアップ	表示
TitleIndex, http://www.edgewall.com/, !NotAlink	TitleIndex , http://www.edgewall.com/ , NotAlink

スクエアブラケット ('?')

内にリンクの後ろにスペースとタイトルをつけることによって、よりリンクの内容をふさわしく表したタイトルをつけることができます。

このタイトルが省略されたとき、リンクが外部リンクでない限りにおいて明示的なプレフィックスが捨てられるでしょう。これは、[Wiki ページ名](#)のコンベンションに従わない wiki ページを扱うときに役に立つでしょう。

Wiki マークアップ	表示
<pre>* [http://www.edgewall.com Edgewall Software] * [wiki:TitleIndex Title Index] * [wiki:TitleIndex] * [wiki:ISO9000]</pre>	<ul style="list-style-type: none"> • Edgewall Software • Title Index • TitleIndex • ISO9000?

[WikiCreole](#) の書式に従って、この種のタイトルはまた、二重のスクエアブラケット ('['', ''']) 内にリンクの後ろにパイプ ('|') とタイトルを書くことによっても指定することができます。

<pre>* [[http://www.edgewall.com Edgewall Software]] * [[wiki:TitleIndex Title Index]] * [[TitleIndex Title Index]] * [[wiki:TitleIndex]] * '' ![[TitleIndex]] ! '' * [[ISO9000]]</pre>	<ul style="list-style-type: none"> • Edgewall Software • Title Index または Title Index • TitleIndex [[TitleIndex]] はできません ! • ISO9000?
---	--

Note: [WikiCreole](#) のリンク用の書式は Wikipedia や他の wiki で使用されていたりするので、素早くタイプでき、確実に親しみやすいです。しかし不幸なことにこの書式は、[マクロ](#) の書式とかぶってしまいます。

したがって、まれなケースですが、マクロ名にちなんだ wiki ページ名にリンクをはる必要があるとき (典型的な例では、[TitleIndex](#)、[InterTrac](#) や [InterWiki](#))、`[[TitleIndex]]` と書くと、ページへリンクする代わりにマクロを呼び出してしまいます。

Trac リンク

Wiki ページでは Trac の他のコンポーネントに直接リンクできます。チケット、レポート、チェンジセット、マイルストーン、ソースファイル、他の Wiki ページへは以下のようにリンクを記述します:

Wiki マークアップ	表示
<pre>* #1 ticket:1 * {1} report:1 * r1, [1] changeset:1 * ... * Trac * InterTrac * - #Trac1 Trac:ticket:1 * - [Trac1] or Trac:changeset:1</pre>	<ul style="list-style-type: none"> • チケット: #1 または ticket:1 • レポート: {1} または report:1 • チェンジセット: r1, [1] または changeset:1 • ... <p>他の Trac のインスタンスをターゲット、つまり InterTrac リンクを使用している場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • チケット: #Trac1 または Trac:ticket:1 • チェンジセット: [Trac1] or Trac:changeset:1

他にもいろいろな Trac リンクがあります。 [Trac リンク](#)

により細かい情報とデフォルトで使用できるすべてのリンクのリソルバのリファレンスについて書かれています。

アンカーの設定

アンカー、またはもっと正しく言うならば、[アンカー名](#) は ドキュメント内の場所をユニークに特定するために、Wiki ページ内のいたるところに明示的に追加することができます:

```
[=#point1]
```

[上記で説明した](#) 明示的にヘッダ id をつけるときのフォーマットと合うようにこのシンタックスが採用されました。例:

```
== #title
```

そのアンカーに対応するリンクのシンタックスにも近いです:

	2012/10/20
[[RecentChanges(Trac,3)]]	<ul style="list-style-type: none"> • TracIni (diff) • TracRepositoryAdmin (diff) • TracSearch (diff)

使用方法とインストールされているマクロの一覧は [WikiMacros](#) に記述されています。

特定のマクロの詳細なヘルプを見るためには、マクロ名にクエスチョンマーク ("?") をつけることにより、直接見ることができます。

Wiki マークアップ	表示
[[MacroList?]]	<pre>[[MacroList]]</pre> <p>インストールされている Wiki マクロの一覧と利用可能なドキュメントも表示します。</p> <p>マクロの名前を引数に指定することができ、この場合はそのマクロのドキュメントだけを表示します。</p> <p><small>このマクロは mod_python の PythonOptimize オプションを有効にしているとマクロのドキュメントを表示できません。</small></p>

プロセッサ

Trac は [WikiProcessors](#) の機能によって、Wiki 以外のマークアップにも対応しています。例えば、プロセッサとしてページの描画に [reStructuredText](#) や [HTML](#) を使用することができます。

Wiki マークアップ	表示
Example 1: HTML	
<pre> {{{ #!html <h1 style="text-align: right; color: blue"> HTML ■■■■ </h1> }}}</pre>	HTMLテスト
Example 2: ソースコードのハイライト	
<pre> {{{ #!python class Test: def __init__(self): print "Hello World" if __name__ == '__main__': Test() }}}</pre>	<pre> class Test: def __init__(self): print "Hello World" if __name__ == '__main__': Test()</pre>
Example 3: 複雑なテーブル	

